

### 👉 G A Pの取組 (団体認証)

## JAふくおか八女かんきつ部会GAP研究会

〈問い合わせ先〉 J Aふくおか八女 園芸指導部 園芸指導課 0943-23-1163

JGAP

みかん

### <基本情報>

所在地：福岡県八女市

構成員：13名

<農場概要>

栽培面積：**みかん** 42ha（内訳：極早生15.5ha、早生10.3ha、普通15.1ha、中晩かん1.1ha）

<経営の理念>

「安全・安心・甘い八女**みかん**を消費者に届けよう」

JGAP団体認証取得申請メンバー！  
(撮影時に4人のメンバーが不在でした。)



### <G A Pの取得のきっかけ>

取引先の量販店からの取得依頼



JGAP青果物2010  
2016年 認証取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ■生産履歴の管理

JGAPの団体認証を青年部で申請しており、**農薬保管や倉庫内の整理整頓**について**父親との認識違い**。(要、不要の線引き)

#### ■労働環境の整備 (ハード面の設置に係る導入経費等)

**安全性を確保するための、資材導入や**  
証明書の確保に関わる**経費増大**。

#### ■リスク評価 (食品安全、農作業安全等)

各農場におけるリスク評価において、各構成員が自覚しているものの、それを**文書化することに慣れていない**。



農薬の保管状況のチェック

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ■取引先の信頼確保

⇒**今まで以上に産地としての信頼確保**

⇒**より安定した生産・販売数量**

#### ■従業員の意識の変化

⇒**経営者としての自覚の向上**

⇒**安全な農産物の生産**

#### ■労働環境の整備

⇒**農作業事故防止の意識向上**



安全・安心・甘い八女**みかん**を消費者の皆さんへお届けします。



G A P研究会  
持丸会長

# GAPの取組 (団体認証)

# JAおおいたGAP研究会

<問い合わせ先> JAおおいたGAP研究会事務局 TEL: 097-544-0310 (JAおおいた営農部園芸課)

## JGAP

柑橘、みつば、いちご、大葉  
白ねぎ、七草

### <基本情報>

所在地：大分県大分市

構成戸数：78戸

### <経営概要>

経営面積：99.7ha (柑橘：7.9ha, みつば：5.6ha, いちご：7.2ha, 大葉：12.4ha, 白ねぎ：58.9ha, 七草：7.7ha)

### <取組方針>

①本人が諦めない限り、最後まで付き合う！ ②誰(高齢者)でも取り組むことが出来るよう、工夫を重ねる！



平成29年度未来につながる  
持続可能な農業推進コンクール  
生産局長賞受賞



### <GAPの取得のきっかけ>

■大分県内で発生した残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、大分県と連携してJGAP団体認証に向けた準備開始(平成23(2011)年6月)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### 【認証取得にあたって】

◆取組意思のある高齢者にわかりやすいマニュアルの提示、記帳しやすい様式の必要性等、課題が浮き彫りに。

#### 【認証取得後】

◆3品目が団体認証を取得 → 審査認証費用を抑えられないか。

#### 【生じた課題への対応】

- ◆マニュアルは、**図を多用、文字を大きくする**など高齢者へ配慮。
- ◆生産者が慣れたやり方、様式をできる限り活かす。
- ◆農場・倉庫等の**片づけと整理整頓!**



◆いちご、みつば、柑橘の**3団体を統一し、団体事務局の運営効率化**

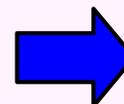
### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆柑橘は、GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより**高単価商品としての販路拡大**(糖度等の品質基準も有り)や西日本全体へ**販売エリアが拡大**。
- ◆出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、いちごについては規格が簡素化し、生産者の**パック詰め作業効率が2倍以上に効率化**

(平成24(2012)年度：7,840g/時間 ⇒ 平成25(2013)年度：15,000g/時間)



【従来の2段詰めパック】



【1段詰めパック】

- ◆いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は**45万円→15万円**、審査対象農場数の削減により**農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減**
- ◆**青果物であれば、どの品目でも追加・拡大できる体制を確立!**

(29年度に3品目追加取得。30年度はさらに2品目の追加取得に向け、取り組み中)

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

あんだち  
**ここのえ安達農園**

GLOBALG. A. P.

ブルーベリー

<基本情報>

所在地：大分県玖珠郡九重町

栽培面積：1.5ha（ブルーベリー）

構成員：家族4名、パート7名

【経営理念】：ビッグよりストロングを目指す！



<GAP認証取得のきっかけ>

農業の世界標準規格の認証に関心があり、イオンアグリ創造(株)の「創農塾」受講をきっかけにGAPが必要と判断。



**2016年10月**  
**GLOBALG.A.P.取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ コンサルタントに頼らず、「創農塾」の受講と自助努力のみで取得したこと。
- ◆ パートにGAPの意義を理解してもらうこと。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 家族やパートが、自分の働く農場に対して「我が農園は世界基準だ！」とプライドや意識が芽生え「なぜこうするかを自ら考える」ようになった。
- ◆ 世界基準で認められた農場だからこそ「良い商品を作りたい」という意識が醸成された。
- ◆ 生産するだけでなく商品として「お客様に届ける」との意識が生まれ、ロスが減った。
- ◆ マスゴミを始め各方面から注目されることが増え、農園のメディアへの露出度アップ、PRに繋がっている。



<今後の目標>

- ◆ 農業と福祉の連携として、収穫作業やジャム加工など障がい者や高齢者が安心して働ける場を目指す。また、将来的にはGAP、有機JASを活かして輸出も視野に入れたい。

問合せ先

T E L 0973-78-8917

E-MAIL mka-an@oct.net.ne.jp

👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# (株) オーチャードイワマン

GLOBALG.A.P.

マンゴー

## <基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市大字柏原814-5  
構成員：7名（役員1名、従業員2名、アルバイト4名）  
栽培面積：マンゴー 50a（ハウス5棟）

## 【経営理念】

農業経営及び農場管理において、①安全で高品質な農産物の生産、  
②環境負荷の少ない生産、③安全で健康的な労働を実現する。



## <GAP認証取得のきっかけ>

○海外のブランディング確立のヒントを求め、GLOBAL G.A.P協会の方とヨーロッパ研修に参加したことにより、**GAPの必要性を感じた。**  
○宮崎県産のマンゴーで初めてGLOBALG.A.P認証取得。

⇒令和元年7月 GLOBALG.A.P個別認証取得

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○農業生産・農産物販売活動のマニュアルを作成し、従業員と共有できた。  
○構成員各々が役割分担することで、責任を持って取り組むようになった。  
○作業内容等のデータ化により、作業の効率化、経費の節約に繋がった。



## 「今後の意向」

○GLOBALG.A.Pのノウハウを活かし、適正農業をより充実させ商品価値を高める。  
○自社**マンゴーの世界規模でのブランディング確立と輸出も含めた販路拡大。**  
○ホームページを活用した**通信販売の拡大や冷凍マンゴーの商品化。**



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○製造レベル（生産～出荷）の形態での農業から販売までを行うことにより、GLOBALG.A.P 認証取得までには、コンサルタントからの改善指導を受けながら取り組んだ。



## <問合せ先>

TEL : 090-3073-8346

<https://www.orchardiwaman.com>

## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 長友みかん農園

**GLOBALG.A.P.**

かんきつ(せとか)・きゅうり

### <基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市清武町

構成員：正社員1名、パート13名(最盛期、変動有り)

栽培面積：0.85ha(内、ハウス30棟)

※せとかは赤橙色の果皮、糖度は13度～14度と甘みが強い柑橘

### 【経営理念】

消費者と直接向き合う、安全・安心な農産物の提供



### <GAP認証取得のきっかけ>

○就農前はISOに関わる仕事を行っており、農業においてもGAPの取組は必要であると判断。

### 【GLOBALG.A.P.取得のきっかけ】

○将来的には輸出も視野に入れ、国際的にもメジャーなGAP取得を考えた。

GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2016年2月

### <GAP認証取得(更新)で苦労したこと>

○パートへのGAPの説明

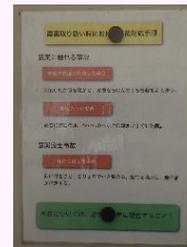
○認証(更新)に関する審査費用が高額である。

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○栽培管理の徹底により農薬の散布量が減り、**労働時間の短縮**や**経費削減**に繋がった。

○農業資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。

○農作業のマニュアル化によりパート従業員の**作業効率の向上と安全な農作業**に繋がった。



### <今後の意向>

○現在のみかん農園を株式会社化し、輸出にも取り組んで行きたい。



### <問合せ先>

TEL 080-4485-3332

<https://www.nagatomonouen.com/>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

## 有限会社 松田農場

**JGAP**

きんかん

### <基本情報>

農場所在地 鹿児島県 薩摩川内市祁答院町藺牟田1133番地

農場概要 きんかん ハウス1.1ha 路地0.2ha

### 経営理念

「**食品安全 環境保全 労働安全 人権福祉**」に配慮した  
農場運営にあたる



当社ではいち早くJGAP認証を取得し、安全・安心で美味しいきんかんの生産・販売を行っています。生で美味しく食べられるきんかんを是非ご賞味下さい。

### <GAPの取得のきっかけ>

「**安全栽培の担保を確実にしたかった。**」

2013年11月にJGAP青果物を初取得。

現在、**JGAP青果物2016**を継続取得中。

### <GAP認証取得で苦労したこと>

1. 栽培以外の環境整備（資本投資）が必要だった。  
⇒ 農薬 肥料 機械 などの倉庫、休憩室、トイレ 駐車場
2. 全員で勉強会を行う時間を、多く費やさなければならなかった。



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

1. **チェック項目に従うことで、頭が整理された。**
2. **農場運営に緊張感が生まれた。**
3. **GAPには、減農薬の目標値などはないが、社内目標値を決めることで、減農薬栽培ができていった。**
4. **年 月 週の計画会議を行い論議することで 社内の共通認識を持てた。**

【問合せ先】 TEL : 0996-56-0426 Fax: 0996-56-0545  
HP : <https://www.mazdafarm.jp/index.html> ネット販売有り